

2005年11月14日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

デジタルカメラ用 ND フィルターを新たに開発、サンプル提供開始

住友金属鉱山株式会社（東京都港区 社長：福島孝一）は、このたびデジタルスチルカメラ用のフィルム状の吸収型 ND (Neutral Density) フィルターを新たに開発しました。

ND フィルターとは、カメラの露出を調整するためのフィルターです。近年デジタルスチルカメラに使用されている CCD や CMOS などの撮像素子が高感度化したことにより、絞りだけの光量調整に加えて、ND フィルターによる調光が必要とされるようになってきましたが、従来の ND フィルターには価格面や耐熱性などの点で問題がありました。

住友金属鉱山が開発した ND フィルターは、樹脂フィルム基板に、独自の薄膜無機材料を乾式成膜するもので、光学薄膜設計に基づいたフラットな分光透過特性と低反射機能を実現することができました。また、フィルム状であるため、フレキシブルで、任意な形状に加工が可能なので、デジタルスチルカメラへの組み込みに最適です。

住友金属鉱山は、フレキシブル配線用の二層めっき基板（銅ポリイミド基板）でロールトゥロールによる樹脂フィルム上への乾式成膜技術を有しており、今回の ND フィルターはその技術を応用展開したものです。ロールトゥロールでの生産方法を採用したことにより、従来のバッチ方式に比べて低コストを実現しました。また、着色材料の練り込み法で製造されたこれまでのフィルム状 ND フィルターと比べて、高温多湿などの環境変化による反りが発生せず、分光透過特性のフラット性や低反射特性に優れるなどのメリットを有します。

ND フィルターは、デジタルスチルカメラやカメラ付き携帯電話の高画素化に伴い需要拡大が期待されております。住友金属鉱山では既にシャッターメーカーやレンズユニットメーカーにサンプル提供を開始し、お客様からは好評を得ております。お客様の要望に合わせて、ロールまたはシート形状で提供することが可能であり、早ければ来春から本格的な販売を開始する予定です。

今後は、ロールトゥロールでの量産技術により高性能で低コストの ND フィルター供給を目指してまいります。また、この技術をさらに展開し、広く光学フィルム市場にも参入してまいりたいと考えております。

なお、この ND フィルターは、東京ビッグサイトで 11 月 15 日から 18 日まで開催される INCHEM TOKYO 2005 「先端材料展」 にサンプル出展いたします。

(本件に関する問合せ先)

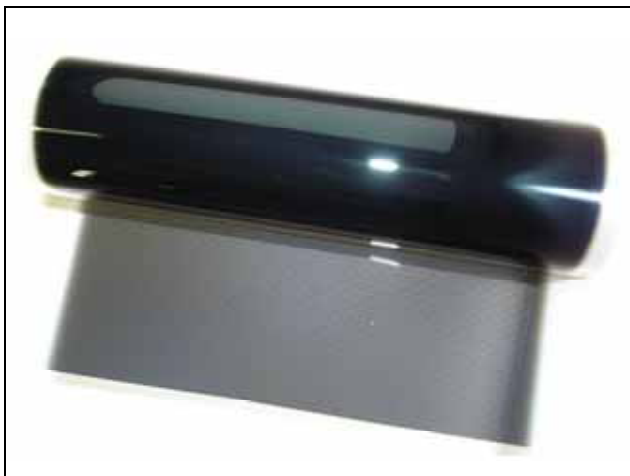
総務部広報室 広報統括課長 高橋 雅史

TEL 03-3436-7701

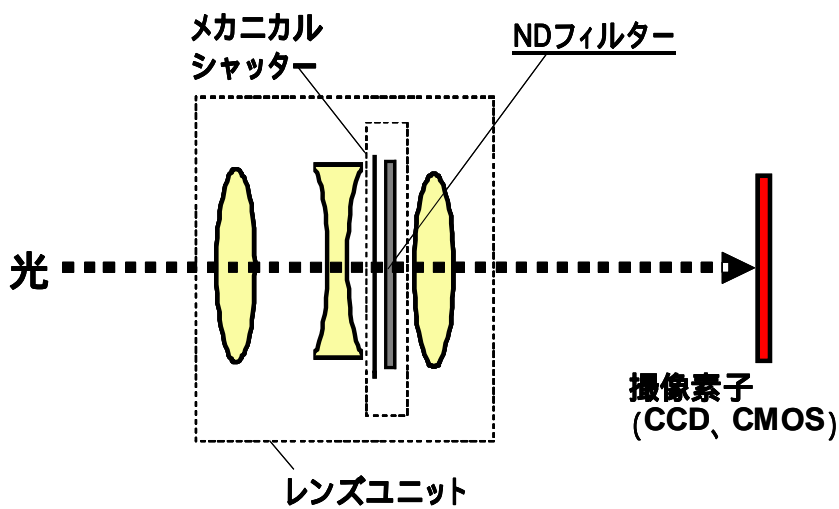
FAX 03-3434-2215

(ご参考)

フィルム状NDフィルター



デジタルスチルカメラの代表的な構造とNDフィルタの使用例



以上